



無線スイッチ ペアリング補足資料



シュナイダーエレクトリック

ZBRR ■ ペアリング・動作設定方法

(ZBARRA、ZBARRC、ZBRRD)

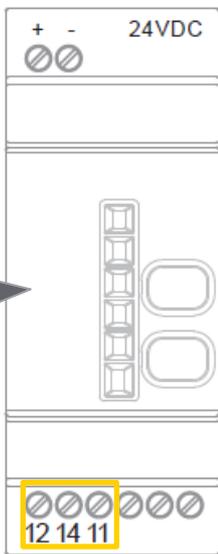


ZBRR ■ 受信機の種類

パッケージセットの受信機 (1:1)

XB ■ RFB01
XB5RMB03

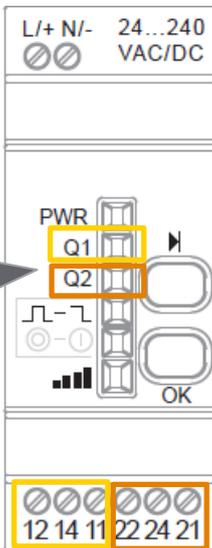
1CH
リレー出力



$I_{max} = 3A$

設定不要!

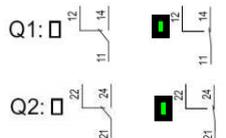
2CH
リレー出力



$I_{max} = 3A$

Q1とQ2が
使用可能

POWER □ OFF ■ ON

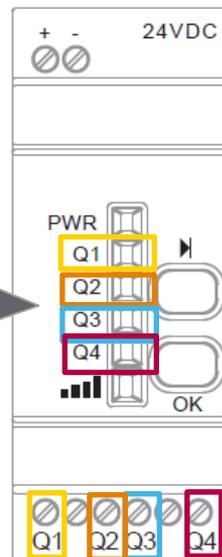


パッケージセットの受信機 (n:1)

XB ■ RFA02
XB ■ RFD02
XB5RMA04
XB5RMD04

ZBRR A
ZBRR D

4CH
PNPトランジスタ出力



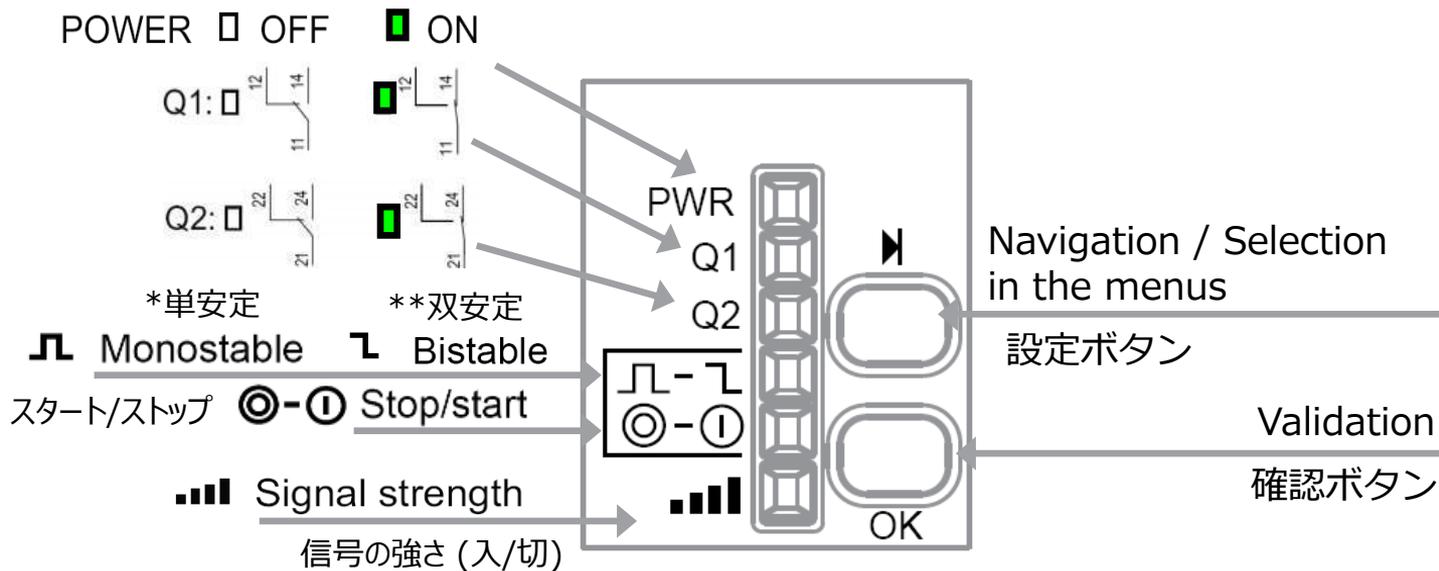
$I_{max} = 200\text{ mA}$

Q1からQ4
まで
使用可能

Life Is On

Schneider
Electric

操作表示・ボタン (ZBRRA / ZBRRD)



*単安定 : 500ms (ワンショット)
**双安定 : 反転 (エッジ)

ペアリングする前の確認事項

用意する物：



送信機
(スイッチヘッド + ZBRT ■)



受信機
(ZBRR ■)

①送信機の種類の確認

送信機はZBRT1またはZBRT2のどちらを使用していますか？

→ZBRT1：500ms ワンショット（ペアリング後、自動的にワンショット動作に設定されます）

→ZBRT2：モーメンタリー（ペアリング後、自動的にモーメンタリー動作に設定されます）

②受信機の種類の確認

受信機はZBRR A、ZBRR C、ZBRR D、パッケージ品のうちどちらを使用していますか？

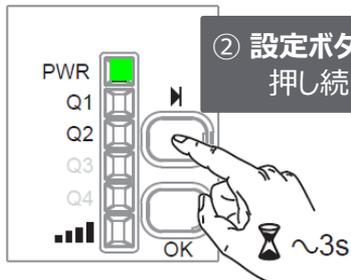
受信機型式	出カタイプ	ワンショット	エッジ	開始・停止	モーメンタリー
ZBRR A	2CH リレー	○	○	○	○
ZBRR C	4CH PNP	○	×	×	○
ZBRR D	2CH リレー	○	○	×	○
パッケージセットの受信機	1CH リレー	○	×	×	×

ペアリング方法

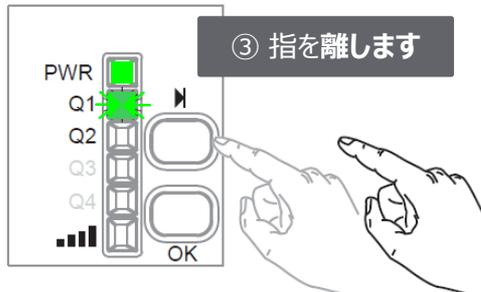
Q1に割り当てる



① 受信機の電源を付けます

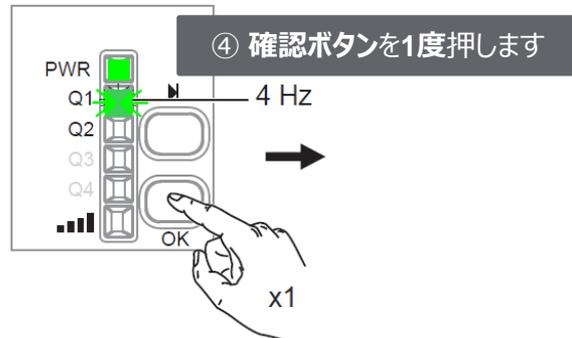


② 設定ボタンを3秒間
押し続けます



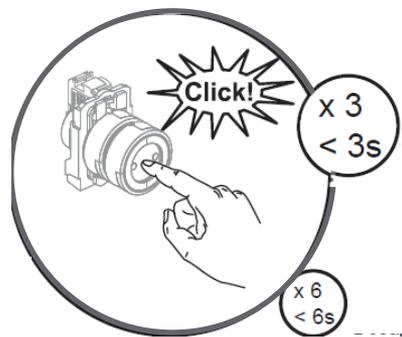
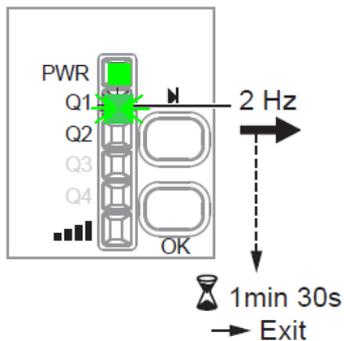
③ 指を離します

Q1のLEDが4回点滅します

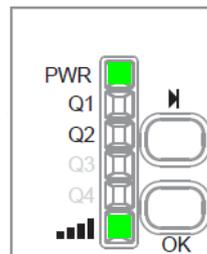


④ 確認ボタンを1度押します

Q1のLEDが2回点滅します



⑤ 送信機を3回押します
(Q1が2回点滅している間
で行います：1分30秒)



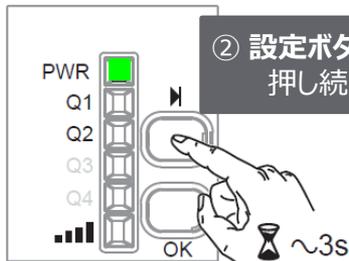
信号マークのLEDが
点灯します

ペアリング方法

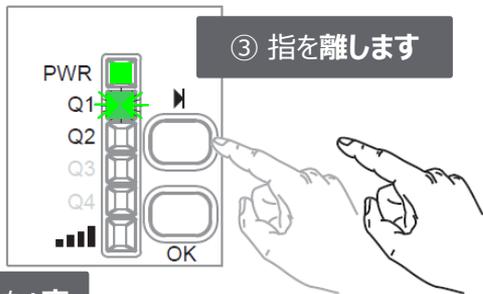
Q2に割り当てる



① 受信機の電源を付けます

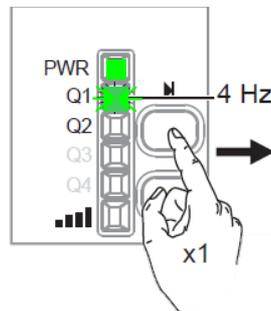


② 設定ボタンを3秒間押し続けます



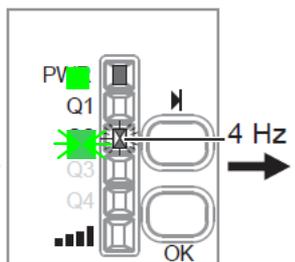
③ 指を離します

Q1のLEDが4回点滅します



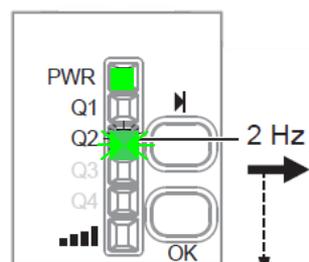
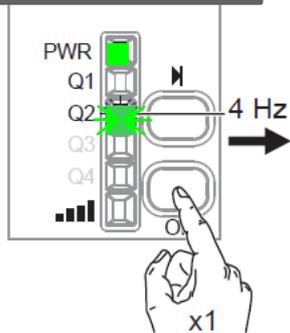
④ 設定ボタンを1度押します

Q2のLEDが4回点滅します

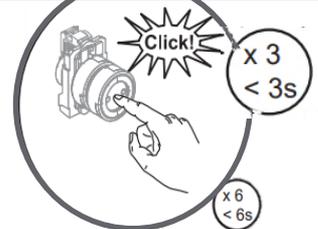


⑤ 確認ボタンを1度押します

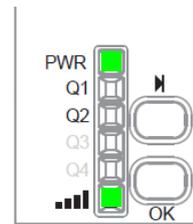
Q2のLEDが2回点滅します



⑥ 送信機を3回押します
(1分30秒の間で)



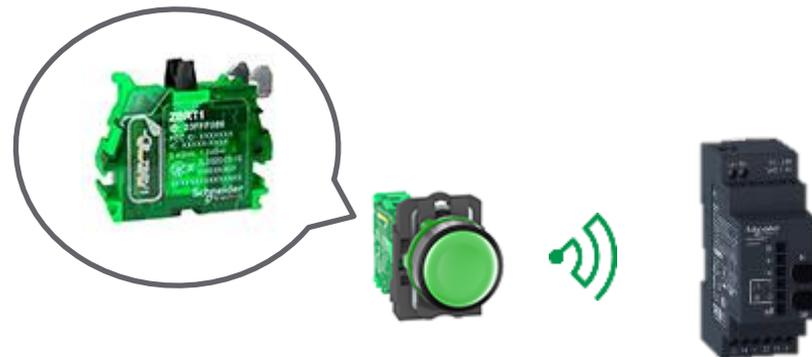
信号マークのLEDが点灯します



1min 30s
→ Exit

ZBRT1 × ZBRR ■ 動作設定方法

(ZBARRA、ZBARRC、ZBARRD)



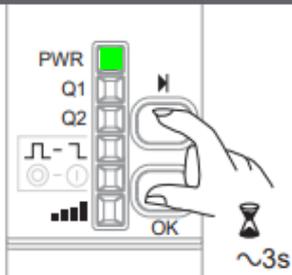
単安定 (500msワンショット) 出力の設定方法



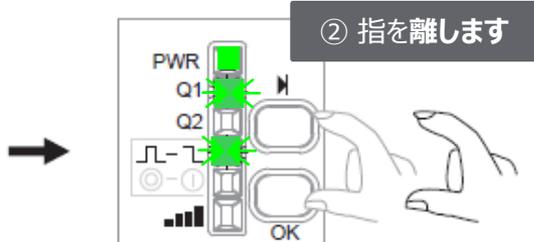
Q1に割り当てる

⌋ Monostable 単安定

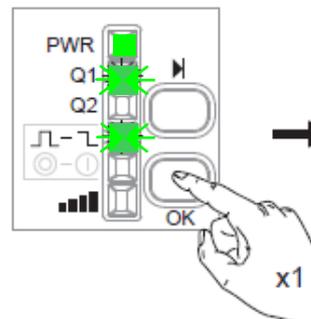
① 設定ボタンと確認ボタンを同時に3秒間押し続けます



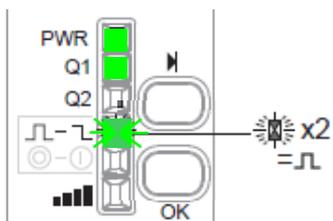
Q1と ⌋-⌋ のLEDが2回点滅します



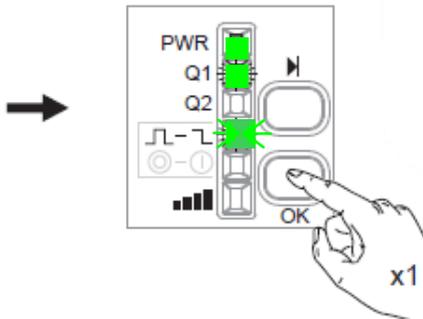
③ 確認ボタンを1度押します



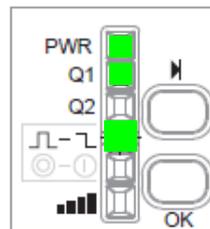
Q1のLEDが点滅から点灯に変わり、⌋-⌋のLEDが2回点滅します



④ 確認ボタンを1度押します



⌋-⌋のLEDが点滅から点灯に変わります



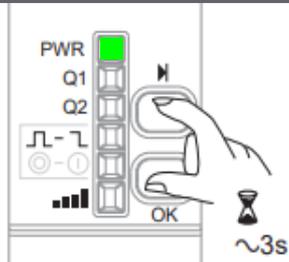
単安定 (500msワンショット) 出力の設定方法



Q2に割り当てる

⌋ Monostable 単安定

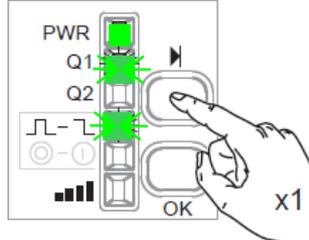
① 設定ボタンと確認ボタンを同時に3秒間押し続けます



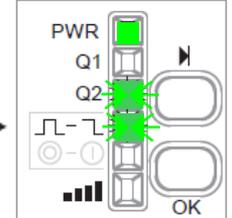
Q1と ⌋-⌋ のLEDが2回点滅します



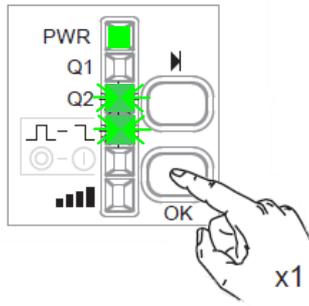
③ 設定ボタンを1度押します



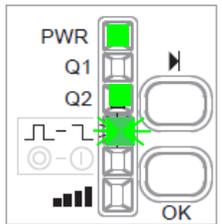
Q2と ⌋-⌋ のLEDが2回点滅します



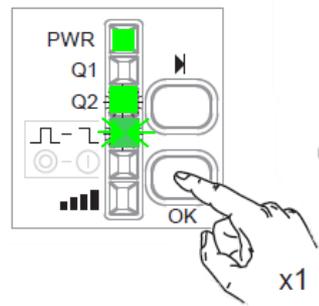
④ 確認ボタンを1度押します



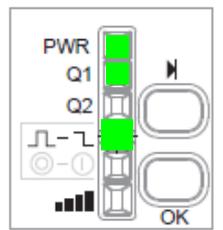
Q2のLEDが点滅から点灯に変わり、⌋-⌋ のLEDが2回点滅します



⑤ 確認ボタンを1度押します

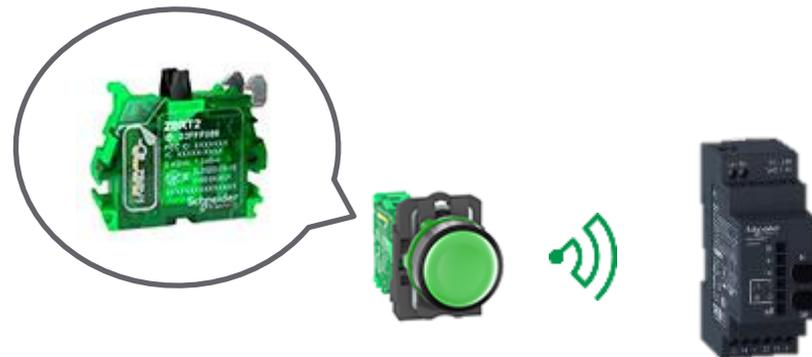


⌋-⌋ のLEDが点滅から点灯に変わります



ZBRT2 × ZBRR ■ 動作設定方法

(ZBARRA、ZBARRC、ZBARRD)



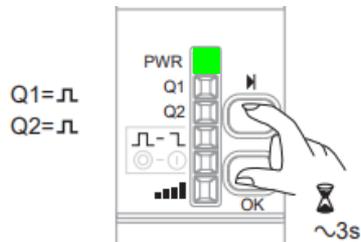
双安定（モーメンタリー）出力の設定方法



Q1に割り当てる

ㄣ Bistable 双安定

① 設定ボタンと確認ボタンを同時に3秒間押し続けます

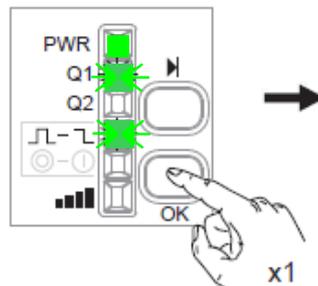


Q1と「ㄣ」のLEDが2回点滅します

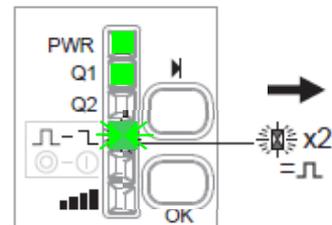
② 指を離します



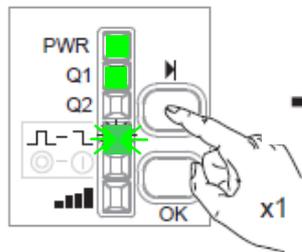
③ 確認ボタンを1度押します



Q1のLEDが点滅から点灯に変わり、「ㄣ」のLEDのみが2回点滅します

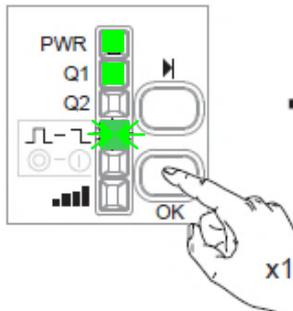


④ 設定ボタンを1度押します

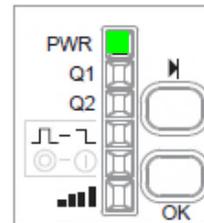


「ㄣ」のLEDが2回から4回点滅に変わります

⑤ 確認ボタンを1度押します



PWR (Power) のLEDのみが点灯します



Q1=ㄣ
Q2=ㄣ

双安定（モーメンタリー）出力の設定方法 1/2

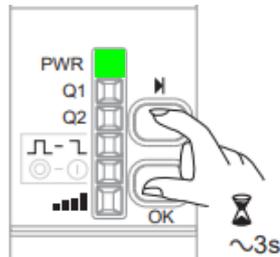


Q2に割り当てる

ㄟ Bistable 双安定

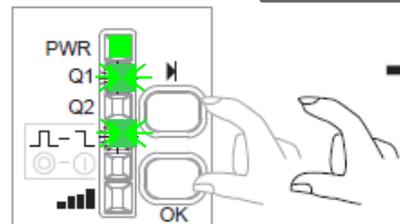
① 設定ボタンと
確認ボタンを
同時に3秒間押し続けます

Q1=ㄱ
Q2=ㄱ

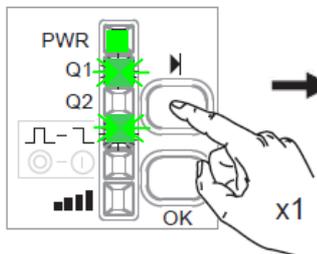


Q1と ㄱ-ㄱ LEDが
2回点滅します

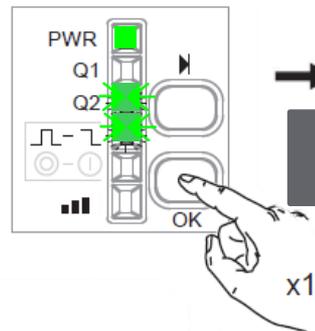
② 指を離します



③ 設定ボタンを
1度押します



Q2と ㄱ-ㄱ のLEDが
2回点滅します



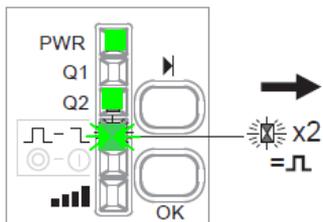
④ 確認ボタンを
1度押します

双安定（モーメンタリー）出力の設定方法 2/2

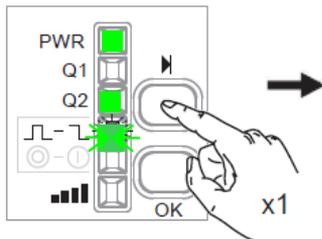
Q2に割り当てる

┌ Bistable 双安定

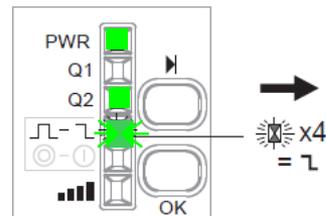
Q2のLEDが点滅から点灯になり、
┌-┌のLEDのみが2回点滅します



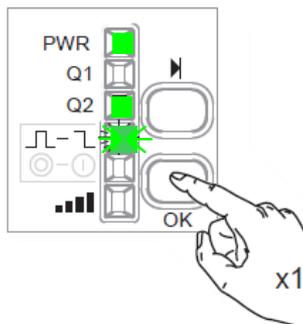
⑤ 設定ボタンを1度押します



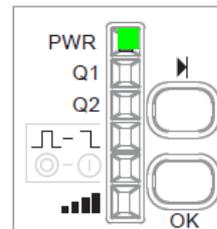
┌-┌のLEDが2回から
4回点滅に変わります



⑤ 確認ボタンを
1度押します



PWR (Power) の
LEDのみが点灯します



Q1=┌
Q2=┌

ボタン



LEDステータス



ZBRT ■ × ZBRRRA 動作設定方法

(ZBRT1、ZBRT2)



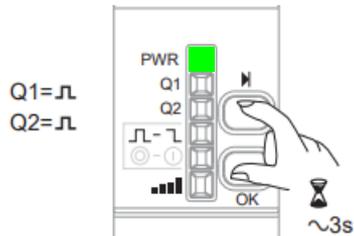
スタート/ストップ出力の設定方法 1/2

Q1に割り当てる

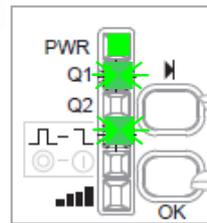
⊙-① Stop/start スタート/ストップ



① 設定ボタンと確認ボタンを同時に3秒間押し続けます



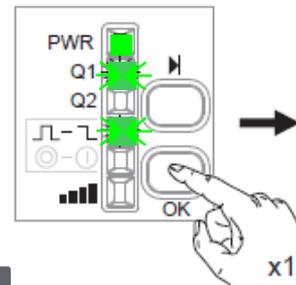
Q1と⌋-⌋のLEDが2回点滅します



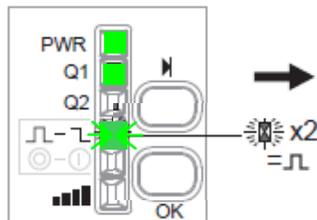
② 指を離します



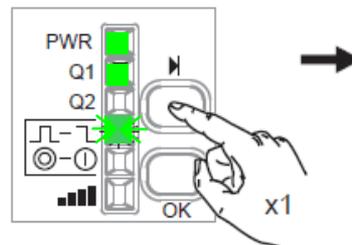
③ 確認ボタンを1度押します



Q1のLEDが点滅から点灯に変わり、
⌋-⌋のLEDのみが2回点滅します



④ 設定ボタンを1度押します



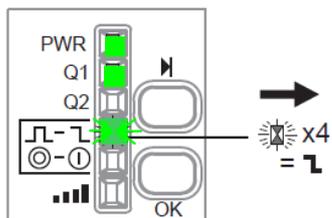
スタート/ストップ出力の設定方法 2/2

Q1に割り当てる

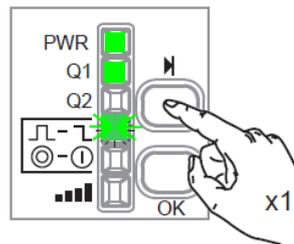
◎-① Stop/start スタート/ストップ



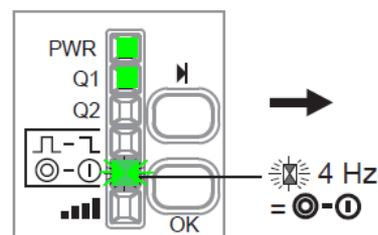
┌-┐ のLEDが
4回点滅します



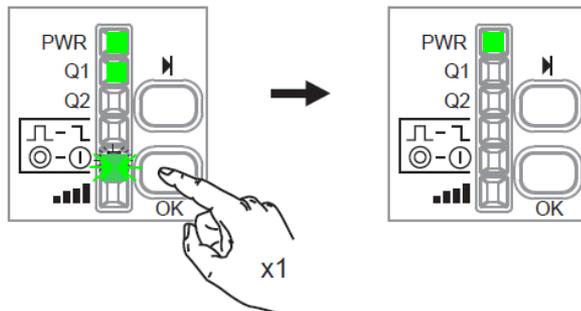
⑤ 設定ボタンを1度押します



◎-① のLEDが
4回点滅します



⑥ 確認ボタンを1度押します



PWR (Power) の
LEDのみが点灯します

Q1=◎-①

Q2=┌-┐

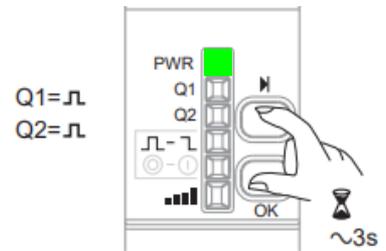
スタート/ストップ出力の設定方法 1/2

Q2に割り当てる

Ⓞ-① Stop/start スタート/ストップ

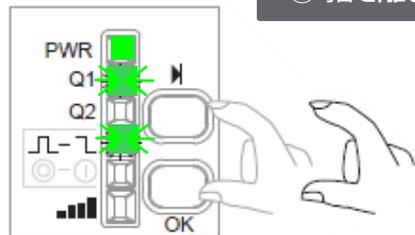


① 設定ボタンと確認ボタンを同時に3秒間押し続けます

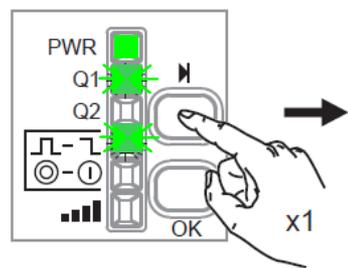


Q1と⌋-⌋のLEDが2回点滅します

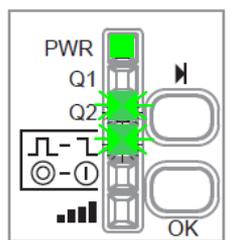
② 指を離します



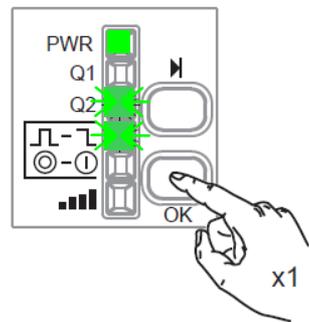
③ 設定ボタンを1度押します



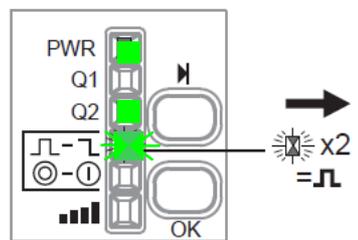
Q2のLEDが2回点滅します



④ 確認ボタンを1度押します



Q2のLEDが点滅から点灯に変わり、⌋-⌋のLEDのみが2回点滅します



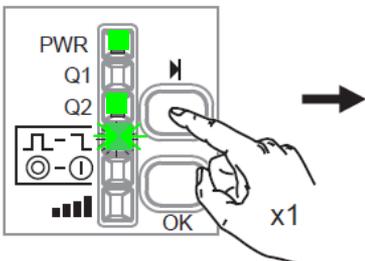
スタート/ストップ出力の設定方法 2/2

Q2に割り当てる

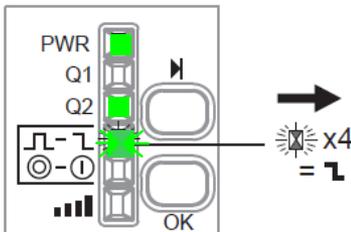
⓪-① Stop/start スタート/ストップ



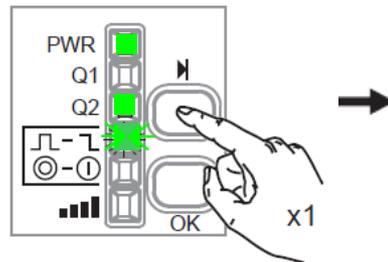
⑤ 設定ボタンを1度押します



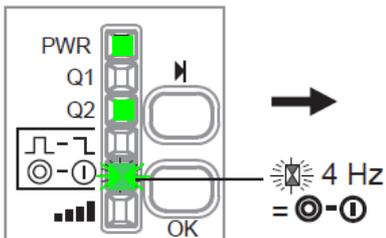
⌒-⌒ のLEDが
4回点滅します



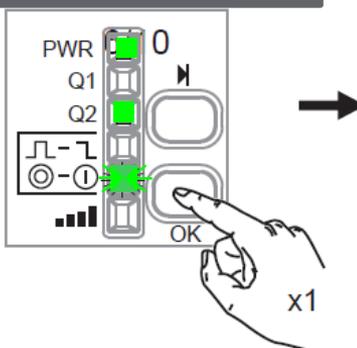
⑥ 設定ボタンを1度押します



⓪-① のLEDが
4回点滅します



⑦ 確認ボタンを1度押します



PWR (Power) の
LEDのみが点灯します

Q1=⌒
Q2=⓪-①

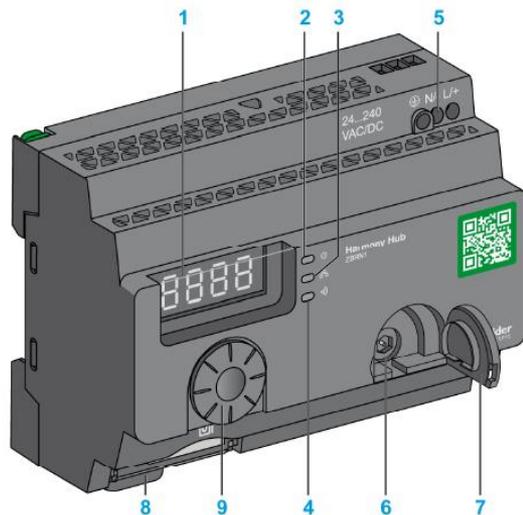
ZBRN ■ ペアリング・動作設定方法

(ZBRN1、ZBRN2)

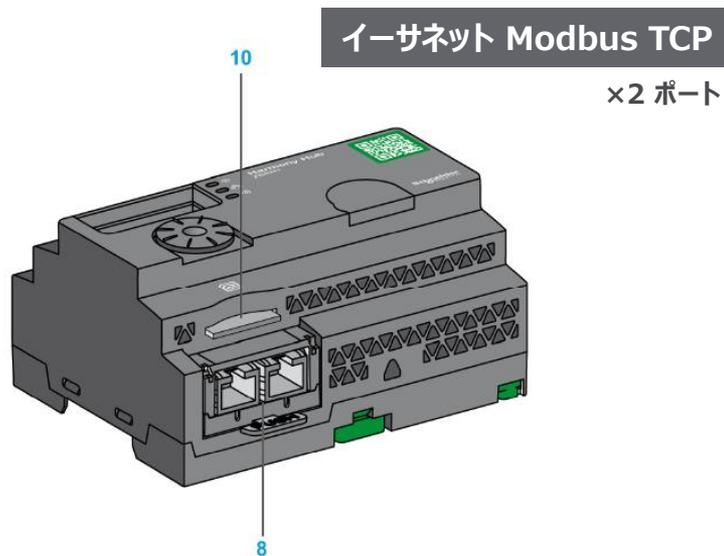


ZBRN1 製品概要

ZBRN1



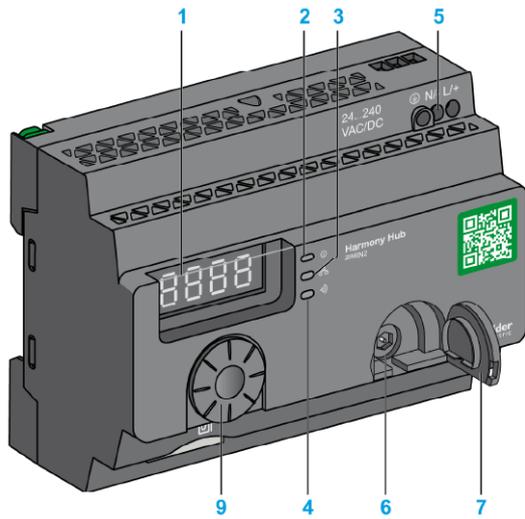
- 1 7 セグメントのディスプレイ 4 つ (LED を 5 つ使用)
- 2 電源 LED
- 3 通信 LED
- 4 無線信号強度 LED
- 5 電源入力端末ブロック



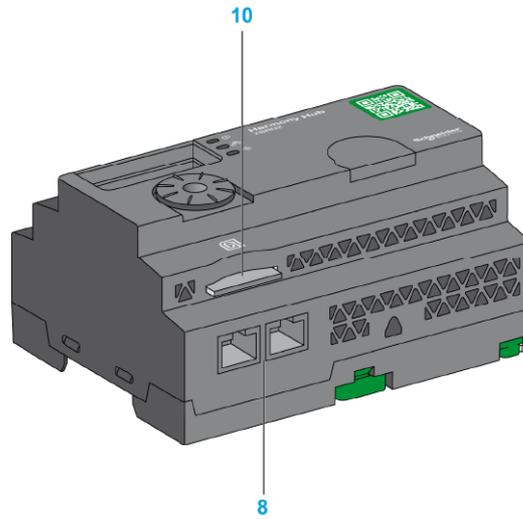
- 6 オプションの外部アンテナ用コネクタ
- 7 オプションの外部アンテナ用コネクタの保護プラグ
- 8 RJ45 Ethernet コネクタを 2 個備えた ZBRCETH 通信モジュール
- 9 ジョグダイヤル
- 10 SDメモリーカードスロット

ZBRN2 製品概要

ZBRN2



- 1 7 セグメントのディスプレイ 4 つ (LED を 5 つ使用)
- 2 電源 LED
- 3 通信 LED
- 4 無線信号強度 LED
- 5 電源入力端末ブロック



- 6 オプションの外部アンテナ用コネクタ
- 7 オプションの外部アンテナ用コネクタの保護プラグ
- 8 RS-485 Modbus シリアルラインコネクタ 2 個
- 9 ジョグダイヤル
- 10 SDメモリーカードスロット

シリアル
×2 ポート

ペアリングする前の確認事項

用意する物：



送信機
(スイッチヘッド+ZBRT ■)



受信機
(ZBRN ■)

①送信機の種類の確認

送信機はZBRT1またはZBRT2のどちらを使用していますか？

→ZBRT1：500ms ワンショット（ペアリング後、自動的にワンショット動作に設定されます）

→ZBRT2：モーメンタリー（ペアリング後、自動的にモーメンタリー動作に設定されます）

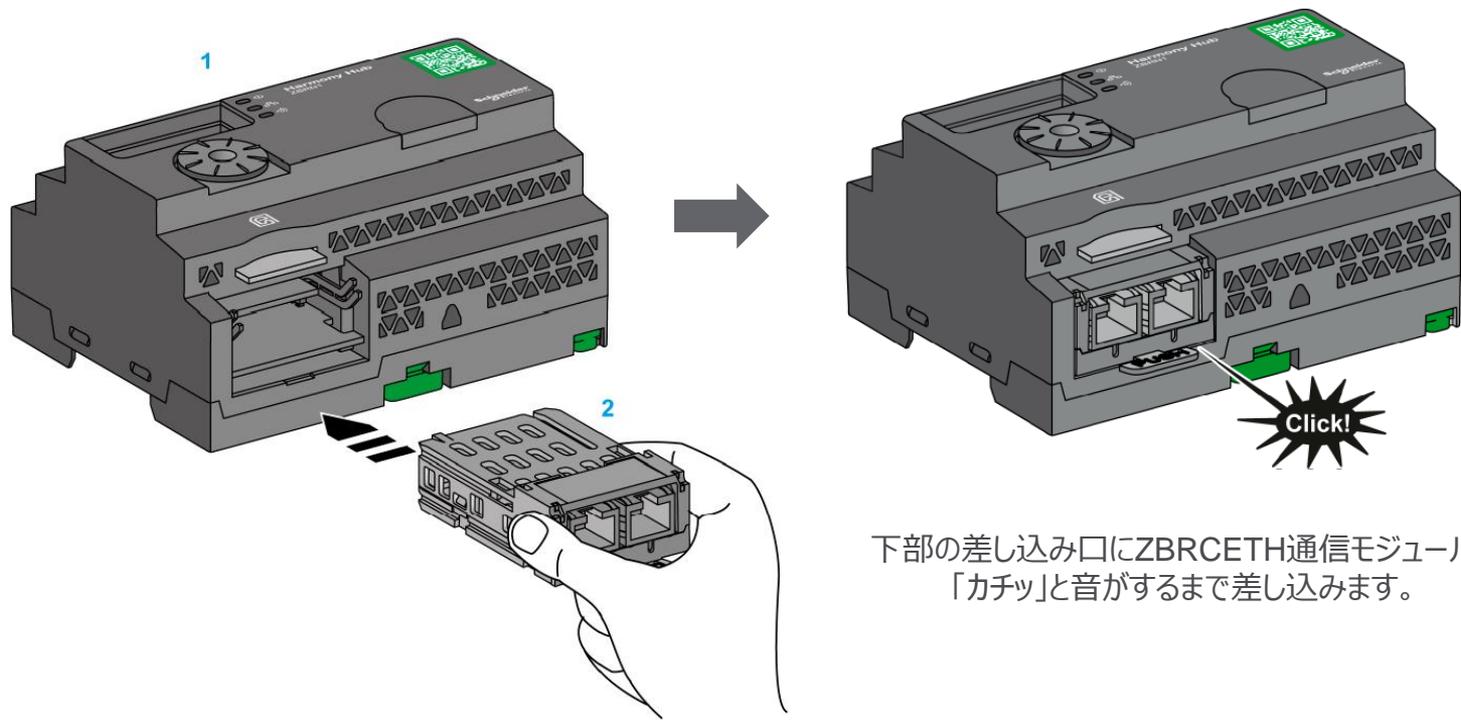
②受信機の種類の確認

受信機はZBRN1、ZBRN2のどちらでしょうか？

出力の機能（動作）	イーサネット	シリアル
	ZBRN1	ZBRN2
	ワンショット	
	モーメンタリー	

ZBRN1 初期手順 (ペアリング前)

ZBRCETH通信モジュールの挿入方法



下部の差し込み口にZBRCETH通信モジュールを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ZBRN1 初期手順（ペアリング前） 1/2

ZBRN2のシリアル設定については、ZBRN ■マニュアルの P.176 を参照ください。

IPアドレスの設定（1）



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを左へ2ノッチ回転します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。
ここでジョグダイヤルを回すと“bp”、“d 0”の
に変更することで、bp=BOOTP モード、または
d=DHCPモードに切り替えることが可能です。

詳細は、ZBRN ■マニュアルの P.178 を参照ください。



IPアドレスの設定を行ないます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



IPアドレス1項目が点滅表示される
設定するアドレスにするまでジョグダイヤ
ルを回し、決定したらジョグダイヤルボタ
ンを1度押します。



同様にIPアドレス4項目までジョグダイ
アルとジョグダイヤルボタンで設定し、決
定したらジョグダイヤルボタンを1度押し
ます。

ZBRN1 初期手順（ペアリング前） 2/2

IPアドレスの設定（2）



サブネットマスクの設定を行います。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



サブネットマスク1項目が点滅表示されるので、設定するアドレスにするまでジョグダイヤルを回し、決定したらジョグダイヤルボタンを1度押します。



同様にサブネットマスク4項目までジョグダイヤルとジョグダイヤルボタンで設定し、決定したらジョグダイヤルボタンを1度押します。



ゲートウェイアドレスの設定を行います。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ゲートウェイアドレス1項目が点滅表示されるので、設定するアドレスにするまでジョグダイヤルを回し、決定したらジョグダイヤルボタンを1度押します。



同様にゲートウェイアドレス4項目までジョグダイヤルとジョグダイヤルボタンで設定し、決定したらジョグダイヤルボタンを1度押します。



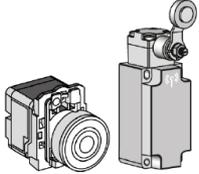
設定したアドレスを保存するためにジョグダイヤルボタンを1度押します。



保存する場合は、ジョグダイヤルを回して“yes”にして、ジョグダイヤルボタンを1度押します。

ペアリングするにあたって必要な情報

受信機LED表示に表示されます

タイプ番号	HMI ラベル	関連する送信機
1	So	 押しボタン、リミットスイッチ、…

メニュー	説明	互換性のある伝送器	伝送器のタイプ
① Id	マニュアルペアリング。送信機の ID は手動で設定します。	静的送信機 <ul style="list-style-type: none"> ● So ● S1 	送信機のタイプ <ul style="list-style-type: none"> ● 1 ● 6
② t	ティーチペアリング (1) ペアリングリクエストを出力する最初の送信機が、この入力にペアリングされます。	OTA 送信機 <ul style="list-style-type: none"> ● So ● CL ● Et ● S1 	送信機のタイプ <ul style="list-style-type: none"> ● 1 ● 4 ● 5 ● 6
③ t Id	ID によるティーチペアリング (1) 正しい ID でペアリングリクエストを出力する送信機のみが、この入力にペアリングされます。	OTA 送信機 <ul style="list-style-type: none"> ● So ● CL ● Et ● S1 	送信機のタイプ <ul style="list-style-type: none"> ● 1 ● 4 ● 5 ● 6

(1) ペアリングリクエストは、ペアリングモードが選択されてから 2 分以内に Harmony Hub によって受信される必要があります。

詳細は、ZBRN ■ マニュアル P.52~を参照ください。

①Idペアリングモードを使用してペアリングをする方法 1/2

チャンネル0に割り当てる



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(接続されている機器数が表示されます。)

ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(割り当てるチャンネルを選択します。
今回は0にします。)

ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(送信機のタイプを選択します。
押しボタンスイッチなので**So**です。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



「t」(ティーチング)と表示されるので、
ジョグダイヤルを回して「Id」にします。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。

① Idペアリングモードを使用してペアリングをする方法 2/2



今回は、こちらの押しボタンをペアリングする例です。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの**最初の2桁**に合わせます。
そして、ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの**次の2桁**に合わせます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの**次の2桁**に合わせます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの**最後の2桁**に合わせます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(割り当てられたチャンネルが表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(接続されている機器数が表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。

②t (ティーチング) ペアリングモードを使用してペアリングをする方法 1/2

チャンネル0に割り当てる



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(接続されている機器数が表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(割り当てるチャンネルを選択します。
今回は0にします。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(送信機のタイプを選択します。
押しボタンスイッチなのでSoです。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。

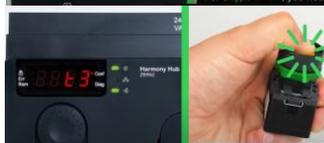
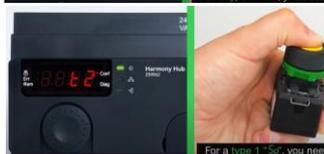
②t (ティーチング) ペアリングモードを使用してペアリングをする方法 2/2



(「t」(ティーチング)と表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(接続されている機器数が表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



送信機の押しボタンを3回押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(割り当てられたチャンネルが
表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



③ t Idペアリングモードを使用してペアリングをする方法 1/2

チャンネル0に割り当てる



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(接続されている機器数が表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(割り当てるチャンネルを選択します。
今回は0にします。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(送信機のタイプを選択します。
押しボタンスイッチなので**So**です。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



「t」(ティーチング)と表示されるので、
ジョグダイヤルを回して「t Id」にします。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。

③ t Idペアリングモードを使用してペアリングをする方法 2/2

チャンネル0に割り当てる



今回は、こちらの押しボタンをペアリングする例です。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの最後の2桁に合わせます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの最初の2桁に合わせます。
そして、ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(割り当てられたチャンネルが表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの次の2桁に合わせます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



(接続されている機器数が表示されます。)
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを押しボタンのIDの次の2桁に合わせます。
ジョグダイヤルボタンを1度押します。



ジョグダイヤルボタンを1度押します。

マニュアル・動画

<マニュアル>

- 押しボタンスイッチ（ペアリング方法記載）



押しボタンスイッチ
マニュアル

- パッケージセット（ペアリング済みのため、動作設定方法のみ記載）



パッケージセット
マニュアル

- 受信機（動作設定方法のみ記載）



ZBRR* マニュアル



ZBRN* マニュアル

- オプション品（アンテナZBRA1、ハンディボックス取付方法）



アンテナ マニュアル



ハンディボックス
マニュアル

<動画>

- ZBRT ■（送信機）とZBRR ■ ペアリング方法 <https://youtu.be/R1llzys1g00>
- ZBRR/ZBRRD 動作設定方法 <https://youtu.be/TqCrJONMdUM>
- ZBRN ■ ペアリング方法 <https://youtu.be/Ri6ggVjfh4>

Life Is On | **Schneider**
Electric

se.com

